



11月の園だより

令和2年度 いぬかいこども園 No.8

朝夕の気温がぐっと下がり、秋の終わりが感じられるようになりました。「秋の日はつるべ落とし」・・・他の季節に比べて秋は急速に日が暮れるということを表すことわざです。つるべ(釣瓶)とは、井戸で水を汲み上げるために使われる道具のことで、桶を縄の先にとりつけたものを滑車に掛けて使用します。このつるべが、井戸の中に素早く落ちる様子を秋の日暮れに例えて「秋の日はつるべ落とし」と言われています。「あっ」という間に日が暮れます。お迎えの際は、十分にお気を付けてくださいね。

運動会を経験した子どもたちは、大きな自信へと繋がり、一回りも二回りも成長したように見えます。また、友達同士のつながりも強くなり、朝から元気いっぱい遊び声が園中に響いています(^) 戸外での遊びを中心に散歩にもたくさん出かけ、季節の変化やいろいろなものとの出会い・経験の場を多く持ち、子どもたちの心を膨らませていきたいと思ひます。コロナ禍での新しい生活様式にも慣れてきた子ども達、手洗いや咳エチケットもしっかり身につけています。感染症予防をしっかりと行い、大人も子どもも元気に冬への備えをしていきましょう。

《教育・保育目標》

- さくら組・〇自然物にふれたり、秋の歌やお話を楽しんだりする中で、秋の自然の美しさを感じ興味や関心を深める。
- すみれ組・〇身近な秋の自然に全身でふれ、遊びに取り入れながら季節を感じる。
- たんぼぼ組・〇身近な秋の自然にふれながら遊ぶことを楽しむ。
- つくし海組・〇身近な秋の自然に親しみ、さまざまな遊びを楽しむ。
- つぼみ組・〇保育者と一緒に、秋の自然にふれたりいろいろな遊びを楽しんだりする。
- めばえ組・〇散歩に行ったり園庭で体を動かしたりして遊び、室内では絵本や玩具などでふれあいや、やりとりを楽しむ。

11月の予定

- 17日(火) 芋ほり
- 18日(水) 身体計測 (未満児)
- 19日(木) 身体計測 (以上児)
- 20日(金) 誕生会
- 27日(金) 避難訓練・消防ひろば
- 30日(月) 親子研修遠足 (以上児)
- 観劇 (ぞらいろ人形劇場)

未定 焼芋大会

12月19日(土)
はっぴょう会

遠足楽しかったよ



クリスマスが近づいてきました。「プレゼントを何にしようか?」と迷われることと思います。そこで、「おもちゃの選び方」についての記載をご紹介します。今回は、0.1.2歳児の「おもちゃの選び方」についてです。

良いおもちゃとは?

おもちゃは、値段が高ければよい、というものではありません。もちろん高価で良質のおもちゃも沢山あります。日本には、おもちゃの安全性についての規格やそのデザインについての評価はあるのですが、品質についての規格や評価はありません。ドイツには、「シュピールグート (spiel gut)」という認証制度があり、この認証を受けるには、安全性や素材はもちろんのこと、想像力への刺激や多様性(いろいろな遊び方ができること)、構造や仕掛け、そしてか価格その他について審査に合格する必要があります。この認証を受けた物は、「シュピールグート」のマークを使用することが出来ます。輸入品の全てが「良いおもちゃ」というわけでもありませんので、この認証の有無を確認してみるのも良いと思います。

良いおもちゃを選ぶ

まず何より安全で丈夫でシンプルなものを選びます。おもちゃが電池で動く必要はありません。おもちゃは子どもが働き掛ける対象なので、その働き掛けに応じて様々に反応を示すことが求められます。たとえば、子どもがそっと触れたら、それに反応してかすかに動く、力強く触れたら、それに反応して大きく動く、というような子どもの働き掛けに応じた反応です。これらは、電池式のおもちゃのパターン化された動きとは異なるものです。シンプルなものであればある程度、子どもの側からの使い道、つまり遊び方も豊かになります。遊びが豊かになるというのは、子どもが遊びに没頭する、夢中になって遊べるということです。それによって、子どもの直接的経験が豊かになります。

